

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● 早生樹現地検証会（森林整備・育成委員会）

早生樹はその名のとおりに、早く成長する樹種の総称であり、その成長の早さから、短期的な木材利用等への可能性が注目されています。

平成30年に当コンソーシアムは早生樹と呼ばれる樹種の中から、センダン及びコウヨウザンを試験的に植栽しました。当試験地は岐阜県森林研究所の協力もあり、毎年、植栽木の成長量調査を行ってきました。これまでの成長量調査の成果報告及び現地視察、意見交換を兼ねた検証会を開催しました。



現地検証会の様子

今回、講師として、岐阜県森林研究所 うしききょうすけ 宇敷京介 研究員をお招きしました。宇敷研究員には毎年、本試験地の調査をしていただいています。報告では、各樹種の成長量、生育に影響すると考えられる環境要因のほか、植栽時に施工された単木保護資材の影響についてお話いただきました。

植栽されたセンダン及びコウヨウザンは今年で7年目を迎えますが、センダンは樹高8メートルを超えるもの、コウヨウザンでは樹高6メートルを超えるものがありました。



成長したセンダンの様子



成長したコウヨウザンの様子

参加者はその成長量に驚く一方で、植栽地の選定、保護資材の影響等、早生樹の植栽における課題を理解した声が多くあがり、早生樹に関する知見を深めていました。

アンケートより抜粋

- ・センダン、コウヨウザンの初期成長における課題等が分かった。
- ・コウヨウザンの成長速度、萌芽更新などの特徴を理解した一方で、適した環境や食害、倒木などの課題があることも理解しました。

森林研究所ではホームページにて研究成果、手引きを公開しています。

<https://www.forest.rd.pref.gifu.lg.jp/>

● 岐阜県立森林文化アカデミー「公開授業」

6月27日（金）に岐阜県立森林文化アカデミー（エンジニア科2年、クリエイター科2年）の「公開授業」を実施しました。

以前から企業説明会により学生と企業との接点を設けてきましたが、今回は手法を変え、授業風景を参観することでお互いを知る機会となるよう計画しました。

この「公開授業」では、アカデミー（学生・教員）と企業が交流することにより、就職後の両者のミスマッチを無くすことを目的に、①：学生は企業へ自身をアピールする場、②：教員は授業に求める企業ニーズを探る場、③：企業は学生をインターンシップや就業につなぐ場、学生に対応したインターンシップや就業内容を模索する場となるよう開催しました。

授業参観では、まずテクニカルセンター前広場でA材、B材、C材への「仕分け」実習を参観しました。

「仕分け」実習では、学生が自ら選別する様子を参観し、選別基準などを学生に聞いたり、学生にどのようなことを教えているのか教員に聞くなどの交流行いました。その後、演習林に移動し、「皆伐」、



「仕分け」実習

「皆伐」実習では、学生自らが高性能林業機械（グラブ、スイングヤーダ）を操作し、荷掛けを行い集材する様子を参観しました。

「間伐」実習では、伐倒作業の様子を参観しました。



「皆伐」実習

昼食時には、学生、教員、企業参加者が昼食を食べながら意見交換を行いました。企業説明会とは違い、リラックスした状態で企業と交流することができ、何気ない会話から、林業に携わる先輩としての企業参加者の話、インターンシップや就業につながる話など、さまざまな話をすることができました。

参加者から、「学生と直接コミュニケーションが取れてよかった」、「どのような授業、実習を行っているのか見学できてよかった」などの意見があり、学生、教員、企業にとって有意義な「公開授業」を開催することができました。



昼食時 意見交換会

次年度以降も引き続き「公開授業」を開催していこうと思います。

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）

〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529

E-Mail: gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp